



図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

TOPICS

1. 図書館・夏のイベント“七夕まつり”を開催

6/28～7/8、館内に“七夕飾り”を設置し、来館した学生・教職員が短冊に思い思いの願い事を書いて吊るすなど、季節の行事を楽しみました。七夕飾りの準備や笹の設置、飾りつけは、図書館で活動する学生団体の LA とコンシェルジュ、職員が協力して行いました。

七夕飾りにくわえて、七夕や季節の行事に関連する図書の展示、コンシェルジュ学生が制作した“七夕の由来”、“夏の星座”、“静岡県内の夏祭り・イベント情報”に関する3枚のパネルを展示しました。



2. 学生選書ツアーに行ってきました

9/13 (金)、谷島屋書店浜松本店にて、学生選書ツアーを実施しました。選書ツアーとは、学生のみなさんが直接書店に出向き、様々な本を見て手に取り、図書館に置いて欲しい本をその場で選んでいくイベントです。当日は、LA を中心とした4名の学生が書店に集合し、小説や学習に必要な本など店内を巡りながら選びました。普段見ることのない分野の本も見て回れて良い機会になった、などの感想がありました。選書された40冊の本は、学生の推薦カードを添えて図書館内に展示していますので、是非見に来てください。



3. 図書館コンシェルジュが選んだ本 展示しました！

☑️ ブログ記事掲載

前期コンシェルジュの学生8名が、自分の専攻や興味関心のある分野の本など、学生目線でみんなに薦めたい本24冊を選んでくれました。

本に手書きのPOPを添えてコンシェルジュの展示架に展示しましたので、ぜひ見に来て手に取ってみてください。



「PythonではじめるKaggleスタートブック」

「ハッキング・ラボのつくりかた」

「PLOT 建築のプロセス 石上純也」

「トコトンやさしい地震と建物の本」

「アイデアとかデザインとか」

「自動車の空力技術」

「看護の学びなおしバイタルサイン」

ほか

4. “SIST 秋の読書キャンペーン” がスタート

今年も9/20～11/8の期間で“SIST 秋の読書キャンペーン”を実施しています。昨年同様、期間中に借りた本の「コメントカード」を記入し、提出してくれた学生には、学生ホールカフェのドリンクチケットをプレゼントしています。コメントカードはカウンターで配布、館内各所に設置してあります。お気軽にご参加ください。

*キャンペーンの詳細は、図書館ホームページ（お知らせ）または館内掲示板をご覧ください。



5. 令和6年度 蔵書点検を実施しました

8/28～9/12の7日間、図書館を休館し蔵書点検を実施しました。館内の資料約14万冊に貼られているバーコードを一冊ずつハンディターミナルで読取り、所蔵データと照合することにより、不明な資料がないか、配架場所が間違っている資料がないかを確認します。あるべき状態に修正し、現物とデータを一致させることで、適正な資産管理と利用者の利便性を高めることができます。今回は、アルバイト学生2名にもお手伝いいただき、予定通り終了することができました。点検期間中は皆様にご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力ありがとうございました。

読書への羅針盤

渡邊 言也 先生 (情報デザイン学科) に聞く

「脳科学と人間の神秘」



今回は、情報デザイン学科の渡邊言也先生にお話を伺いました。先生は人間の行動に基づいた感情やストレスについての脳科学を主に研究されています。幼少のころから人間や人間の心に興味があり、心理学を学ぶため文系の大学に入学されたのちカウンセラーを目指されたそうです。しかし感受性が高かったがゆえにカウンセラーという夢を断念し、自分が最も興味を持った分野をとことん追求したいと考えられたそうです。その結果、外界の刺激から行動を起こすまでのプロセスに興味を持ち、人間の意思が脳で生まれる仕組みが知りたいと思い大学教授を目指されたそうです。

そんな先生ですが幼少のころはどのような少年だったのでしょうか。そのころから『学研の科学』『日経サイエンス』などを読み、科学的なことに興味があったそうです。しかし国語や社会などの文系科目も得意だったため文系の大学に進学したそうです。そんな先生が大学生のころ出会ったある一冊の本に強い影響を受け、現在の研究内容に踏み切ったそうです。その本はラマチャンドラン著『脳のなかの幽霊』です。この本は脳や神経科学の面白さが詰まっていて、脳の秘密を特別な機械を必要とせずに体感することができる方法が書いており、脳の不思議な働きや仕組みをわかりやすく理解することのできる本です。わかりやすく解説されているとはいえ、内容はとても奥深く、心理学や脳科学は身近なものであると知り魅力を感じたそうです。

そして先生が私たちにすすめてくださった本は、『chatter：頭の中のひとりごとをコントロールし、最良の行動を導くための26の方法』です。この本は常に悩み事について考え疲れてしまう人に対して、客観的にみることや、時間経過で考えたりしてポジティブに第三者視点で考える方法について書かれています。ストレスをコントロールし、どうすれば悩み事を割り切って切り離すことができるのかが書かれているため、よく反復思考をしてしまう人には特におすすめの本だそうです。

最後に先生に学生の印象をお聞きしました。先生は「素直で与えられたものに対してはよく頑張っている」とお答えくださいました。しかし違和感や分からないことに対して能動的に解決できず、我慢していることが多いのではないかと危惧されていました。我慢と忍耐の区別がついていない人が多いため、あきらめない忍耐とそれを乗り越える粘り強さを身につけてほしいとおっしゃっていました。どんなに苦手なものでも好きなことを極めることが大切であり、自分が熱中できることを見つけ何かで秀でている人になってほしいとのことでした。渡邊先生、お忙しい中有意義なお話を聞かせていただきありがとうございました。

所在：『chatter』展示架 141.5 / Kr7

インタビュー・記事：情報学部1年 西野由夏

『犬と私の10の約束』 川口晴 著

私の選んだ一冊

犬を飼っているひと、またはこれから飼い始めるひとへ贈る！幸せになれる10の約束。昨今はペットブームなどがあり、生き物を飼うことがぐっと身近なことになっていると思います。YouTubeやTikTokなどの動画配信サイトではいろいろな愛くるしい動物たちの動画が多く流れており、癒しを提供してくれています。しかしペットも我々と同じ命を持つ生き物、この本はそんな尊い隣人との最適な接し方、それを教えてくれるものになっています。

物質生命科学科3年 平野幹喜

『怪盗探偵山猫』 神永学 著

「人を殺めないこと」が信条の怪盗・山猫と、雑誌記者の勝村。ふたりはひょんなことから利害が一致し、コンビを組んで事件を追うことになる。この作品は山猫と勝村の掛け合いのテンポが良く、山猫のスタイリッシュな作戦や勝村の機転が効いたアイデアなど見どころが盛りだくさんである。また、本編とは異なった設定で映像化もされているため、そちらで2度楽しむこともできるがまずは小説を是非とも読んでほしい。

情報学部1年 西山楓

『ガウスの黄金定理 ～平方剰余の相互法則で語る数論の世界～』

西来路文朗, 清水健一著. (ブルーバックス)

私達はふだんの生活で電子マネーをよく使っています。電車で定期券区間外に乗り越した際にはTOICAで支払い、友達みんなで食事した際には一括会計で自分の負担金額をPayPayで会計担当に送金、ネットショッピングで買い物した際にはクレジットカードで支払い、など。電子マネーを安全に使用できるのは、数学知識に基づく暗号技術のおかげなのです。

今、世界で最も使用されているデジタル署名はRSA署名です。RSA署名のもとになったRSA暗号は、素因数分解の求解困難性に基づいています。中学数学で素因数分解を習いましたね。例えば「 $15 = 3 \times 5$ 」が素因数分解です。「15」という小さい数なら簡単に素因数分解できますね。では、大きな数ではどうでしょうか。「3」や「5」の素数が大きくなっても掛け算は地道に計算すれば比較的簡単に計算できます。しかし、2つの素数の積「15」は大きな数になると、素因数分解の計算はととても大変なのです。これを「素因数分解の求解困難性」といい、RSA暗号の安全性の根拠になっています。

一般的に、正の整数「 n 」を素因数分解するには、素数「2, 3, 5, 7, 11, ...」で割り切れるかどうかを順番に調べていきます。「 $n = p \times q$ ($p < q$)」ならば p 回調べる必要があります。整数の性質を利用して、素因数分解の計算量を減らす工夫をしたり、RSA

暗号の他に暗号技術を考案したりできます。数学の研究の中でも、整数の性質を論じる学問を「数論」といいます。数論の知識は、現代の暗号理論や情報セキュリティには不可欠なものになっています。

推薦図書は、「平方剰余の相互法則で語る数論の世界」という副題がついている通り、難しく感じられる数論の世界に、親しみやすくわかりやすい言葉で読者を導いてくれます。著者は数論の研究者であると同時に高校教員の経験があり、高校生や一般の人が、微積分などを知らなくても、数と親しんで、最先端の研究を垣間見て、数論の本質に触れられるように、具体的な数の計算を例示して、わかりやすく解説してくれています。

「平方」とは「2乗」のことです。平方剰余を用いた暗号技術もあり、平方剰余暗号と呼ばれています。この原稿を執筆する直前に開催された学会や国際会議でも、平方剰余の性質についての研究結果や平方剰余暗号について講演がありました。平方剰余は最先端の暗号技術の安全性を支える数学知識なのです。

推薦図書は、図書館の受付(貸出手続きをする場所)の目の前のブルーバックスの書棚にあります。ぜひ、読んでみてくださいね。

【所在】南閲覧室 412 / Sa22

新着図書紹介

喫茶おじさん
原田ひ香著, 小学館

世界はラテン語でできている (SB選書)
ラテン語さん著, SBクリエイティブ社

北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦
小山周子, 岩崎茜著, 東京美術

「空のみなど」のインフラ学
未来の空港・航空システムを語る
山縣宣彦, 轟朝幸, 加藤一誠編著, 成山堂書店

日常の絶景 知ってる街の、知らない見方
八馬智著, 学芸出版社

Size 世界の真実は「大きさ」でわかる
バーツラフ・シュミル著/栗木さつき訳, NHK出版

学びのティップス 大学で鍛える思考法 改定版
近田政博著, 玉川大学出版部

歴史と地理で読み解く日本の都市と川
林上著, 風媒社

自分とかなないから。教養としての東洋哲学
しんめいP著, サンクチュアリ出版

仮想化のしくみ (図解まるわかり)
鈴木健治, 宗村拓実, 丸山勝康, 吹宵著, 翔泳社

らいぶらりあん

「靴の友」

図書館 奈良谷光江子

図書館で働いていると人に話すと読書家のように思われることが多いのですが、恥ずかしながら私は読書家ではありません。いわゆる「積読(つんどく)」も多く、実際に読んだ本よりむしろその方が多いくらいです。けれど本を読むことは好きなのでいつも靴の中には本が入っています。小説に限らず、時には哲学書、紀行文、詩集、語学本、

ればさらに得した気分です。もちろんアクシデントも何もなく一度も開かないまま返却期限が来て返すこともしばしばあります。それはそれで、今回はイレギュラーなことがなく順調に日々過ごせたことに感謝し「いつかまたの機会に会いましょう」と心の中で呟いて返却します。

大学図書館のホームページにあるマイライブラリ機能は貸出履歴もわかるので、以前結局読めずに返したあの本、でもタイトルが思い出せないといった時にとっても便利です。今は借りないけ

タイトルが気になった本などその時の気分でジャンルは様々です。

電車通勤なので電車が遅れたり、途中で止まってしまったり、また休日には待ち合わせ場所に早く着いてしまったり、相手から遅れると連絡が入ったりしたとき、靴に本が入っているだけで「このスキマ時間に本を読もう」と本来ならアンラッキーな状況であるはずが何だかラッキーな気分になります。こういう時こそ時間があたら読みたいと思っていた本を開くチャンスです。感動する本や面白い本に出会え

れどいつか時間が出来たら読みたいという本にはブックマーク機能もあります。大学図書館には文庫や新書、単行本まで新旧取り揃えてたくさん本があります。「○○な本ありますか?」「○ ○について調べたいんですが…」など本に関することならいつでも教育棟4階図書館のカウンターへお気軽にお尋ねください。約13万冊の本たちが皆さんに手に取ってもらおうのを待っています。



LIBRARY CALENDAR



開館時間： ■ 9:00~18:00 ■ 9:00~20:00 ■ 9:00~16:00

休館日： ■

10月							11月							12月							2025年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	・	1	2	3	4	5	・	・	・	・	・	1	2	1	2	3	4	5	6	7	・	・	・	1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31	・	・	24	25	26	27	28	29	30	29	30	31	・	・	・	・	26	27	28	29	30	31	・

- 10月14日、11月4日(祝)は授業日につき開館 9:00~18:00
- 10月26日(土)-27日(日)は大学祭、2025年1月25日(土)は試験期間中につき開館 9:00~16:00
- 【休館】大学祭準備 10月25日(金)/28日(月) | ● 【休館】冬期休業 12月24日(水)~2025年1月5日(日)
- 2025年1月31日(金)の開館時間 9:00~18:00

※開館カレンダーは、状況により変更になる場合があります。最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】夏休みに訪れた「せんだいメディアテーク」は、仙台市中心部の緑豊かなケヤキ並木通り沿いにある公共施設で、建築でも有名な場所です。開放的な空間に配置された閲覧席で、利用者がゆったり本を読んだり学習したりしている様子が印象に残りました。職業柄、興味が尽きずつい長居してしまいます。本や建築がお好きな方、旅先にある図書館を訪れてみませんか。